NEC Express5800シリーズ
Express5800/iR110a-1H

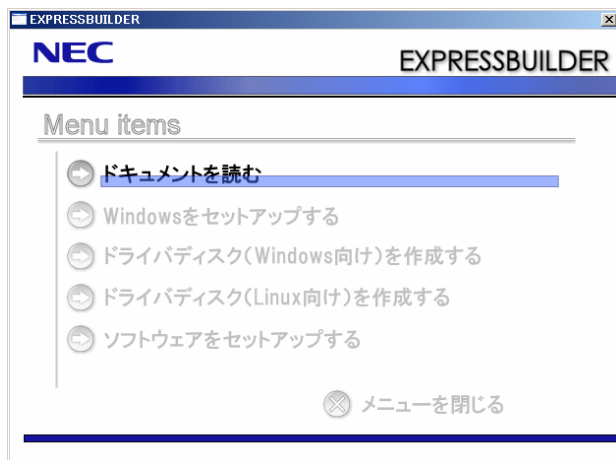
4

EXPRESSBUILDER

本装置を保守・管理するための統合ソフトウェアについて説明します。

オートランで起動するメニュー

Windows2000+IE6.0、WindowsXP、Vistaまたは Windows Server 2003、Windows Server 2008（Server Core環境を除く）が動作しているコンピュータ上で添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをセットすると、オートラン機能により自動的にメニューが起動します。

このモデルではWindows関連の項目は未サポートのため、メニューから実行しないでください。

セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、いったんドライブからEXPRESSBUILDERをイジェクトし、再度セットしてください。また、メニューを再表示させたいときは、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、EXPRESSBUILDERをセットしたドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

メニューからは、Windows上で動作する各種バンドルソフトウェアのインストールやオンラインドキュメントを参照することができます。

オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていないときは、あらかじめAdobeシステム社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしておいてください。

メニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。

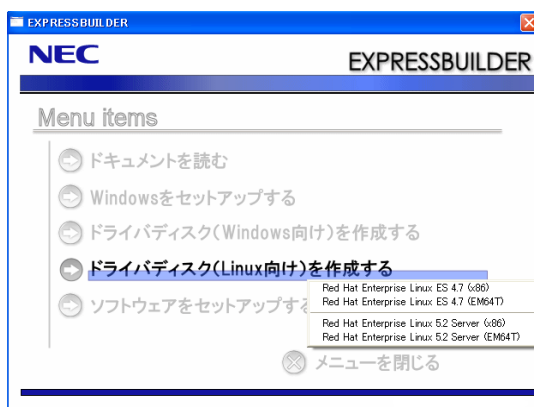
EXPRESSBUILDERをドライブから取り出す前に、メニューおよびメニューから起動したオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

ドライバディスク(Linux向け)の作成

以下の手順で、オートランで起動するメニューからドライバディスク(Linux向け)を作成することができます。

1. 1.44MBフォーマット済みの3.5インチ空きフロッピーディスクを1枚用意する。
2. オペレーティングシステムを起動する。
3. 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブにセットする。

   メニューが起動します。

4. ［ドライバディスク(Linux向け)を作成する］をクリックし、ディストリビューションを選択する。

右クリックで現れるメニューでも同様の操作ができます。

5. メッセージに従ってフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、[OK]をクリックする。

   手順4で選択したディストリビューション用のドライバディスクが作成されます。作成したドライバディスクはライトプロテクトをかけて、ラベルを貼って大切に保管してください。

EXPRESSBUILDER

EXPRESSBUILDERは、本装置を保守・管理するための統合ソフトウェアです。

各メニューの起動について

「EXPRESSBUILDER」DVDを本装置の光ディスクドライブにセットして起動すると、以下のようなメニューが起動します。

```
                Boot selection

Os installation***default***..............①
Tool menu(Normal mode)....................②
Tool menu(Redirection mode)...............③
```

① Os installation

本項目を選択すると、EXPRESSBUILDERトップメニューが表示されます。

このメニューから、OSインストールのための「シームレスセットアップ」（導入編参照）や、以下のような機能を起動することができます。

a) Windows用OEM-Diskを作成する
本装置ではサポート対象外の機能です。

b) Linux用ドライバディスクを作成する
Linuxのインストール時に必要となるドライバディスクを作成します。Linux用ドライバディスクは、シームレスセットアップの途中で作成することもできます。

c) Linux Recoveryパーティションを作成する(Linuxサービスセット用)
Linux Recoveryパーティションには、インストールディスクのISOフォーマットイメージファイル等、Linuxのシームレスセットアップで必要となるモジュールが格納されます。Linux Recoveryパーティションは、BTO(工場組み込み出荷)時のハードディスクドライブ内に予め作成(サイズは約5GB)されていますが、RAID再構築などでパーティションを新規作成する場合は、Linux Recoveryパーティションの作成が必要になります。なお、Linux Recoveryパーティションはシームレスセットアップの途中で作成することもできます。

ハードディスクドライブの接続やRAIDシステム構成を確認し、正しく認識されている状態でLinux Recoveryパーティションを作成してください。

Linuxサービスセットについて

「Linuxサービスセット」は、Linux(ディストリビューション)とサポートサービスなどを組み合わせ、エンタープライズシステムでLinuxをより安心してお使いいただけるようにする製品です。システムの運用性・信頼性向上とシステム管理者の負荷軽減の実現のために、下記の各種機能やサービスを提供しています。

- 設定時や障害時の問題解決を支援するサポートサービス
- 導入時の作業時間を大幅に削減するBTOインストール出荷
- 出荷対象のすべてのOS・サーバモデルで実機での動作評価を実施し、安心して運用していただける環境を提供
- 製品出荷後に公開された新しいカーネルについても評価情報・アップデート手順を提供
- 障害の発生や予兆を早期に発見可能なサーバ稼働監視ツールを提供

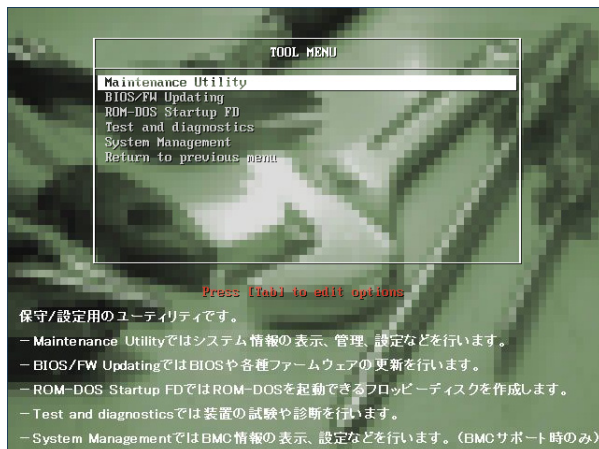
「Linuxサービスセット」の詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。

http://www.nec.co.jp/linux/linux-os/

d) RAIDのコンフィグレーション情報をセーブ／ロードする
本装置ではサポート対象外の機能です。

e) EXPRESSBUILDERにドライバをロードする
本装置ではサポート対象外の機能です。

② Tool menu(Normal mode)

本項目を選択すると、表示言語の選択の後、ツールメニューが起動します。

このメニューから、以下のような保守/設定用の機能を起動することができます。各機能の詳細については、保守ツールの章を参照してください。

a) Maintenance Utility
オフライン保守ユーティリティを起動します。

b) BIOS/FW Updating
システムBIOSをアップデートします。

c) ROM-DOS Startup FD
ROM-DOS起動FDを作成します。

d) Test and diagnostics
システム診断を起動します。

e) System Management
システムマネージメント機能を起動します。

③ Tool menu(Redirection mode)

本装置ではサポート対象外の機能です。

Universal RAID Utility

Universal RAID Utilityは、以下のRAIDコントローラの管理、監視を行うアプリケーションです。

- オンボードのRAIDコントローラ(LSI Embededd MegaRAID™)
- N8103-109 RAIDコントローラ(128MB, RAID 0/1/5/6)
- N8103-116 RAIDコントローラ(128MB, RAID 0/1)
- N8103-117 RAIDコントローラ(128MB, RAID 0/1/5/6)

Universal RAID Utilityのインストールおよび操作方法、機能については、添付のEXPRESSBUILDER に収録している「Universal RAID Utility Ver2.0 ユーザーズガイド」を参照してください。

カスタムインストールモデルでのセットアップ

本体装置のモデルにより、あらかじめ Universal RAID Utility がインストールされている場合があります。

シームレスセットアップを使用したセットアップ

Universal RAID Utilityは、「EXPRESSBUILDER」DVDに収録している「シームレスセットアップ」を使用してセットアップできます。シームレスセットアップのセットアップするアプリケーションの選択で、[Universal RAID Utility] を選択してください。

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを使用したセットアップ

Universal RAID Utilityのインストールイメージが存在するディレクトリで、セットアッププログラムを直接実行します。インストールイメージは、EXPRESSBUILDER の以下のディレクトリに収録しています。
/*BBB*/lnx/pp/uraidutl
BBBの部分は、EXPRESSBUILDER 媒体番号
5.AA-BBB.CC
のBBBと同じ値です。

ネットワーク経由での管理

Universal RAID Utilityは、管理対象RAIDコントローラを搭載するコンピュータをネットワーク経由で管理する機能をサポートしていません。ネットワーク経由で管理するには、Windowsのリモートデスクトップなど、リモートコンソール機能を使用してください。

イージーコンフィグレーション機能

Universal RAID Utilityの「イージーコンフィグレーション」機能は、LSI Embedded MegaRAIDでは使用できません。

RAIDレベル6の論理ドライブの作成

ハードディスクドライブ3台でRAID6（データx1+パリティ x2）の論理ドライブを作成するには、WebBIOSを使用してください。Universal RAID Utilityを使用しての作成はできません。